

## 第1号議案

# 令和4年度事業報告及び収支決算について

## I 概要報告

昭和54年6月に本協議会が設立されて以来、住民・企業・行政の連携と協働による地域社会の形成に向けて、コミュニティ活動を一層活性化するために様々な取組を展開してきた。

そして、全ての県民がコミュニティ活動に参加できるよう『広げようコミュニティの輪』のスローガンのもと、「心のふれあいを深める活動」、「健やかな心身を育てる活動」、「住みよきふるさとをつくる活動」、「郷土を知り、郷土を想う活動」の4つを活動項目とし、それぞれの地域課題に対応した活動を展開した。

これらの活動により、市町村コミュニティ協議会の主催をはじめ、共催、協賛等を含めた事業に約46万人の会員や県民が参加した。

### 【令和4年度の重点事業】

#### 市町村協議会への助成

コミュニティ活動の中心的役割を担う市町村協議会が行う安心・安全な地域づくり、未来を創る子供たちの育成・子育てに希望が持てる地域づくり、豊かな自然と共生する地域づくり、支え合い魅力あふれる地域づくりを推進する事業に対し助成を行った。

## II 令和4年度実施事業

「彩の国コミュニティ活動推進の基本方針」に基づき、地域団体と様々な主体の連携・協働を進め、共助社会づくりを推進するため、次の事業を実施した。

### 1 コミュニティ活動の推進

多くの人にコミュニティ活動へ参加してもらうため、マスコット「サイコミ君」や情報紙、ホームページなど各種の媒体を活用して啓発活動を行った。

- (1) 広報活動の実施
- (2) 共助事例発表会等の開催
- (3) マスコット「サイコミ君」によるPR
- (4) 情報紙の発行
- (5) ホームページの運営
- (6) 支援型自動販売機の設置促進
- (7) 県民の日記念事業への協力

### 2 地域の推進団体への支援

コミュニティ活動の中心的役割を担う市町村協議会が行う事業に対し、助成を行った。なお、事業を実施する際の新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に係る経費についても支援した。

- (1) 市町村協議会への助成 **【重点事業】**
  - ①地域における共生のための新たな協働事業
  - ②その他の事業
    - ア. 安心・安全な地域づくりの推進
    - イ. 未来を創る子供たちの育成・子育てに希望が持てる地域づくりの推進
    - ウ. 豊かな自然と共生する地域づくりの推進
    - エ. 支え合い魅力あふれる地域づくりの推進
- (2) 他団体実施事業に対する後援等

### 3 コミュニティ活動実践者の表彰

住みよい地域社会を実現するため、積極的な実践活動を続けている方々の功績を顕彰することにより、より一層のコミュニティ活動の促進を図った。

- (1) シラコバト賞の贈呈
- (2) 彩の国コミュニティ協議会及び市町村コミュニティ協議会役員に対する表彰

### 4 協議会の運営

- 総会、理事会、企画委員会の開催

### Ⅲ 令和4年度事業報告

#### 1 コミュニティ活動の推進

##### (1) 広報活動の実施

市町村協議会と連携を図りながら、共助社会づくりやコミュニティ活動のPRを行った。

##### (2) 共助事例発表会等の開催

県内全域で「共助社会づくり」に取り組めるように、先進的な共助の取組や手法を紹介する共助事例発表会を開催した。

令和4年6月6日 「行田市の足袋蔵や古民家の保存・活用を通じたまちづくりの取組み」

NPO法人ぎょうだ足袋蔵ネットワーク 朽木 宏

##### (3) マスコット「サイコミ君」によるPR

彩の国コミュニティ協議会のマスコットキャラクター「サイコミ君」を広報紙等に活用することで、コミュニティ活動等のPRを図った。また、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止していた「サイコミ君」の着ぐるみの貸し出しを再開した。

##### (4) 情報紙の発行

コミュニティ活動の活性化を図るため、協議会の事業や会員の活動状況、先進的な取組を紹介する会報を2回発行した。

表1

発行月	主な記事内容
2022年11月 (会報第59号)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度定期総会開催報告</li> <li>・市町村コミュニティ協議会役員に対する永年表彰</li> <li>・共助事例発表会 行田市の足袋蔵や古民家の保存・活用を通じたまちづくり</li> <li>・たまサポ（彩の国市民活動サポートセンター）の紹介</li> <li>・市町村コミュニティ協議会の取組 ○吉川市コミュニティ協議会 ○幸手市コミュニティづくり推進協議会 ○秩父市町会長協議会</li> <li>・会員紹介 ○朝日新聞社さいたま総局 ○（一社）生命保険協会埼玉県協会 ○埼玉県図書館協会</li> </ul>
2023年3月 (会報第60号)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度県民の日記念式典 第54回シラコバト賞</li> <li>・SAITAMA社会貢献プロジェクト</li> <li>・コミュニティ活動実践者の御紹介</li> <li>・市町村コミュニティ協議会の取組 ○東松山市自治会連合会 ○所沢市自治連合会 ○久喜市菖蒲コミュニティ推進協議会</li> <li>・会員紹介 ○産経新聞社さいたま総局 ○（一社）埼玉県子ども会連合会 ○（公財）埼玉YMCA</li> </ul>

##### (5) ホームページの運営

コミュニティ活動に関する情報を適時掲載し、情報提供に努めた。

##### (6) 支援型自動販売機の設置促進

令和4年度は下記6か所の支援型自動販売機について、覚書を締結した寄附者から、売上の一部を令和5年4月に寄附していただいた。

令和5年3月31日時点

表2

設置場所	台数	寄附者
ウェスタ川越	1	施設指定管理者NeCST(ネクスト)
ふじみ野市立市民交流プラザ「フクトピア」	1	毎日興業株式会社
株式会社武蔵野銀行	1	株式会社武蔵野銀行
埼玉県県民活動総合センター	1	公益財団法人いさいき埼玉
大宮第二公園	1	公益財団法人埼玉県公園緑地協会 コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社
埼玉県障害者交流センター	1	社会福祉法人埼玉県社会福祉事業団 コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社

##### (7) 県民の日記念事業への協力

会報において「県民の日」の広報を行うなど、県が実施する県民の日記念事業に協力した。

## 2 地域の推進団体への支援

### (1) 市町村協議会への助成 【重点事業】

コミュニティ活動の中心的役割を担う市町村協議会が行う安心・安全な地域づくり、未来を創る子供たちの育成・子育てに希望が持てる地域づくり、豊かな自然と共生する地域づくり、支え合い魅力あふれる地域づくりを推進する事業に対し、助成を行った。また、事業を実施する際の新型コロナウイルス感染拡大防止対策に係る経費についても支援した。

38協議会 38事業に助成 助成総額2,692,307円

#### ① 優先配分事業

地域における共生のための新たな協働事業については該当がなかった。

#### ② その他事業

##### ア. 安心・安全な地域づくりの推進

日頃から安心・安全な地域づくりに努めている自治会・町内会活動のPRや加入促進を目的とした「自治会・町内会加入促進ポスター展」(所沢市)など、安心・安全な地域づくりを推進するための事業を20協議会が実施した。

##### イ. 未来を創る子供たちの育成・子育てに希望が持てる地域づくりの推進

未就学児及び小学生向けに、公共施設に市に関するクイズを配置し、施設内を探検しながらクイズに答えていく「クイズラリー事業」(吉川市)など、未来を創る子供たちの育成・子育てに希望が持てる地域づくりを推進するための事業を4協議会が実施した。

##### ウ. 豊かな自然と共生する地域づくりの推進

いろは親水公園の定期的な除草・植栽作業を行い、きれいな花を咲かせて、にぎわいを創出した「いろは親水公園にぎわい創出事業」(志木市)など、豊かな自然と共生する地域づくりを推進するための事業を6協議会が実施した。

##### エ. 支え合い魅力あふれる地域づくりの推進

花いっぱいに取り組んでいる自治会・事業所・個人宅の花壇や庭の写真を募集して開催した「私のまちな花いっぱい写真展」(東松山市)など、支え合い魅力あふれる地域づくりを推進するための事業を8協議会が実施した。

表3

地域 担当局	担当区域	市町村協議会		事業数	助成額
		設置数	実施数		
南 部	川口市、蕨市、戸田市	3	1	1	72,339円
南西部	朝霞市、志木市、和光市、新座市、富士見市、ふじみ野市、三芳町	7	4(1)	4(1)	280,000円
東 部	春日部市、草加市、越谷市、八潮市、三郷市、吉川市、松伏町	7	4(1)	4(1)	242,000円
県 央	鴻巣市、上尾市、桶川市、北本市、伊奈町	5	1	1	90,300円
川越比企	川越市、坂戸市、鶴ヶ島市、毛呂山町、越生町	5	3	3	160,500円
東松山	東松山市、滑川町、嵐山町、小川町、川島町、吉見町、鳩山町、ときがわ町、東秩父村	9	4	4	351,221円
西 部	所沢市、飯能市、狭山市、入間市、日高市	5	2	2	244,000円
利 根	行田市、加須市、羽生市、久喜市、蓮田市、幸手市、白岡市、杉戸町	11	9	9	578,000円
北 部	熊谷市、深谷市、寄居町	3	2	2	152,000円
本 庄	本庄市、美里町、神川町、上里町	4	4	4	390,000円
秩 父	秩父市、横瀬町、皆野町、長瀨町、小鹿野町	5	4	4	131,947円
合 計		64	38(2)	38(2)	2,692,307円

※( )内は、中止になった件数で実施数及び事業数に含まれない。

(2) 県内各地で展開されているコミュニティ活動を推進するため、各種団体が推進する行事等に対する後援等を行っている。令和4年度実績1件(加須市小学生ノーポイ運動創作品展)

### 3 コミュニティ活動実践者の表彰

#### (1) シラコバト賞の贈呈

道路や公園などの身近な場の清掃活動や花いっぱい活動、青少年の健全育成活動、施設におけるボランティア活動など、住みよい地域づくりのための地道な活動を長年実践されている方々を顕彰するため、196の個人及び団体にシラコバト賞を贈呈した。

なお、選考は各市町村協議会及び県協議会企画委員会で行い、表彰は11月14日、埼玉県との共催で開催した「県民の日」記念式典において行った。

表4

活動項目	推薦数			受賞者数		
	個人	団体	合計	個人	団体	合計
心のふれあいを深める活動	17	13	30	17	13	30
健やかな心身を育てる活動	64	12	76	64	12	76
住みよいふるさとをつくる活動	58	12	70	58	12	70
郷土を知り、郷土を想う活動	12	8	20	12	8	20
合計	151	45	196	151	45	196

(注) 推薦数は基準に適格した数である。

#### (2) 彩の国コミュニティ協議会及び市町村コミュニティ協議会役員に対する表彰

彩の国コミュニティ協議会又は市町村コミュニティ協議会役員として、長年にわたり地域のコミュニティづくりに多大な貢献をされた6名に対し、6月6日に開催された彩の国コミュニティ協議会総会において表彰を行った。

### 4 協議会の運営

#### (1) 総会、理事会、企画委員会の開催

##### ア. 総会 (1回)

表5

実施年月日	審議項目
令和4年6月6日	<ul style="list-style-type: none"> <li>○役員表彰・共助事例発表会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・会長あいさつ</li> <li>・役員表彰</li> <li>・共助事例発表会</li> </ul> </li> <li>「行田市の足袋蔵や古民家の保存・活用を通じたまちづくりの取り組み」 NPO法人ぎょうだ足袋蔵ネットワーク 朽木 宏 氏</li> <li>○議案審議 <ul style="list-style-type: none"> <li>第1号議案 令和3年度事業報告及び収支決算について</li> <li>第2号議案 令和4年度事業計画(案)及び収支予算(案)について</li> <li>第3号議案 副会長の選任について</li> </ul> </li> </ul>

##### イ. 理事会 (2回)

表6

実施年月日	審議項目
令和4年5月27日	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1)第1号議案 令和3年度事業報告及び収支決算について</li> <li>(2)第2号議案 副会長の選任について</li> <li>(3)その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>①令和3年度第2回理事会結果報告について</li> </ul> </li> </ul>
令和5年3月20日	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1)第1号議案 令和5年度事業計画(案)及び収支予算(案)について</li> <li>(2)第2号議案 協議会活動推進事業費助成金交付要綱の改正について</li> <li>(3)第3号議案 彩の国コミュニティ協議会マスコット「サイコミ君」 着ぐるみ使用規程の改正について</li> <li>(4)その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>令和5年度定期総会の日程について</li> </ul> </li> </ul>

ウ. 企画委員会（1回）

表7

実施年月日	審議項目
令和4年9月9日	第54回シラコバト賞受賞者の最終選考について

(参考) 会員数について

表8

区 分	項 目	令和4年度当初 会 員 数	年度中の異動		令和4年度末 会 員 数
			加 入	退 会	
団体会員	県 域 団 体	1 1 5	0	0	1 1 5
	市 町 村 協 議 会	6 4	0	0	6 4
	小 計	1 7 9	0	0	1 7 9
	企業会員	3 5	0	1	3 4
	行政会員	3 3	0	0	3 3
	合 計	2 4 7	0	1	2 4 6
	賛助会員				4

令和4年度収支決算

1 収 入

(単位:円)

款 項 目	当初予算額	補正額	現計予算額A	収入済額B	差引額 B-A	説 明
I 会 費	1,514,000		1,514,000	1,531,253	17,253	
1 会 費	1,514,000		1,514,000	1,531,253	17,253	
(1)構成団体会費	1,505,000		1,505,000	1,527,608	22,608	
(2)賛助会員会費	9,000		9,000	3,645	-5,355	
II 補 助 金	5,396,000		5,396,000	5,396,000	0	
1 県 費 補 助 金	5,396,000		5,396,000	5,396,000	0	
(1)運営費等補助金	5,396,000		5,396,000	5,396,000	0	
III 着ぐるみ貸出	6,000		6,000	0	-6,000	
1 着ぐるみ貸出	6,000		6,000	0	-6,000	
(1)着ぐるみ貸出	6,000		6,000		-6,000	
IV 寄附金	140,000		140,000	189,087	49,087	
1 寄附金	140,000		140,000	189,087	49,087	
(1)寄附金	140,000		140,000	189,087	49,087	
V 諸 収 入	2,248,000		2,248,000	2,248,669	669	
1 繰 越 金	1,919,000		1,919,000	1,919,835	835	
(1)前年度繰越金	1,919,000		1,919,000	1,919,835	835	
2 雑 収 入	329,000		329,000	328,834	-166	
(1)預 金 利 子	0		0	34	34	
(2)そ の 他 雑 入	329,000		329,000	328,800	-200	社会保険料被保険者負担分等
合 計	9,304,000		9,304,000	9,365,009	61,009	

## 2 支 出

( 単 位 : 円 )

款 項 目	本年度 予算額	補正額	現計予算額A	支出済額B	差引額 A-B	説 明
I 総 務 費	3,430,000		3,430,000	3,032,417	397,583	
1 会 議 費	430,000		430,000	132,720	297,280	
(1) 会 議 費	430,000		430,000	132,720	297,280	
2 事 務 局 費	3,000,000		3,000,000	2,899,697	100,303	
(1) 職 員 費	2,862,000		2,862,000	2,838,145	23,855	
(2) 旅 費	10,000		10,000		10,000	
(3) 庁 費	128,000		128,000	61,552	66,448	
II 事 業 費	4,697,000		4,697,000	3,870,739	826,261	
1 顕 彰 事 業 費	1,203,000		1,203,000	999,632	203,368	
(1) シラコバト賞費	1,186,000		1,186,000	991,706	194,294	
(2) 役員表彰費	17,000		17,000	7,926	9,074	
2 情 報 活 動 費	164,000		164,000	154,710	9,290	
(1) 普 及 啓 発 費	9,000		9,000		9,000	
(2) 情 報 紙 発 行 費	155,000		155,000	154,710	290	
3 活 動 推 進 組 織 支 援 費	3,330,000		3,330,000	2,716,397	613,603	
(1) 地 域 団 体 助 成 費	3,330,000		3,330,000	2,716,397	613,603	
III 予 備 費	1,177,000		1,177,000	0	1,177,000	
1 予 備 費	1,177,000		1,177,000	0	1,177,000	
(1) 予 備 費	1,177,000		1,177,000	0	1,177,000	
合 計	9,304,000		9,304,000	6,903,156	2,400,844	

剰余金

銀行残高(R5.4.25現在)

収入                   ¥9,365,009  
 支出 ー               ¥6,903,156  
 ー                      ¥2,461,853

埼玉りそな銀行   ¥1,645,708  
 武蔵野銀行       ¥252,427  
 ゆうちょ銀行     ¥370,911  
 ー                   ¥2,269,046

令和5年度分

収入               ¥0  
 支出               ¥192,807 (職員費・庁費)  
 ー                   ¥192,807 = ¥2,461,853



## 令和5年度監査結果

彩の国コミュニティ協議会  
会長 大野元裕様

令和4年度における彩の国コミュニティ協議会の収支について、  
関係書類と照合の上、監査した結果、適正であることを確認しました。

令和5年5月9日

監事 松永 好夫

監事 平野 孝則

## 第2号議案

### 役員を選任(案)について

協議会役員の任期満了に伴い会則第7条第2項の規定により、次のとおり役員を選任する。

(順不同)

	役職名	氏名	所属団体等
1	会長	大野元裕	埼玉県知事
2	副会長	(選任中)	埼玉県市長会
3	副会長	三村喜宏	埼玉県商工会連合会会長
4	副会長	上岡悦子	(一社) ガールスカウト埼玉県連盟元連盟長・元埼玉県公安委員会委員長
5	専務理事	島田繁	埼玉県県民生活部長
6	常務理事	檜山志のぶ	埼玉県県民生活部県民共生局長
7	理事	小谷野和博	埼玉県中小企業団体中央会会長
8	理事	星野明弘	特定非営利活動法人埼玉県レクリエーション協会副会長
9	理事	熊倉仁一	埼玉県スポーツ推進委員協議会副会長
10	理事	寺田治子	(一財) 埼玉県民生委員・児童委員協議会会長
11	理事	田中太一	(公社) 日本青年会議所関東地区埼玉ブロック協議会会長
12	理事	柿沼トミ子	埼玉県地域婦人会連合会会長
13	理事	大井川芳江	恩賜財団母子愛育会埼玉県支部副支部長
14	理事	宮澤弘	(一財) 埼玉県交通安全協会常務理事(事務局長)
15	理事	大鹿良夫	(一社) 埼玉県子ども会連合会会長
16	理事	田中英一	「小さな親切」運動埼玉県本部事務局長
17	理事	照井健祐	埼玉県青少年相談員協議会会長
18	理事	永沢映	(公財) いきいき埼玉理事長
19	理事	金井忠男	(一社) 埼玉県医師会会長
20	理事	(選任中)	埼玉県農業協同組合中央会
21	理事	池田一義	(一社) 埼玉県商工会議所連合会会長
22	理事	廣澤健一	(一社) 埼玉県経営者協会専務理事
23	理事	関根肇	(一社) 埼玉県バス協会専務理事
24	理事	栗田美和子	サイタマ・レディーズ経営者クラブ会長
25	理事	市川泰吾	東日本電信電話(株)執行役員埼玉事業部長
26	理事	齊藤政春	(株)武蔵野銀行常務執行役員
27	理事	加藤和徳	(株)埼玉りそな銀行執行役員
28	理事	川原泰博	(株)テレビ埼玉代表取締役社長
29	理事	井上健次	埼玉県町村会会長・毛呂山町長
30	理事	大久保美紀	埼玉県生活協同組合連合会常務理事
31	理事	細井京逸	日本ボーイスカウト埼玉県連盟副理事長
32	理事	沼田浩正	ライオンズクラブ国際協会330-C地区ガバナー
33	理事	齊藤恵子	埼玉県交通安全母の会連合会会長
34	理事	戸所邦弘	埼玉経済同友会代表幹事

	役職名	氏名	所属団体等
35	理事	新井 大	埼玉県公民館連絡協議会副会長
36	理事	奥ノ木信夫	川口市コミュニティ協議会会長
37	理事	渡辺 俊夫	朝霞市コミュニティ協議会会長
38	理事	高橋美智子	春日部市コミュニティ推進協議会会長
39	理事	小林 政男	上尾市コミュニティ推進会議会長
40	理事	戸口 昭一	越生町コミュニティ協議会会長
41	理事	江森不二男	嵐山町地域コミュニティ推進協議会会長
42	理事	島田 康弘	小川町コミュニティ協議会会長
43	理事	福岡 剛	日高市コミュニティ協議会会長
44	理事	江森 正彦	栗橋コミュニティ推進協議会会長
45	理事	佐々木 操	白岡市コミュニティ協議会会長
46	理事	山本 和憲	深谷市自治会連合会連合会長
47	理事	櫻沢 克幸	美里町コミュニティ協議会会長
48	理事	小池 克三郎	秩父市町会長協議会会長
49	監事	平野 孝則	(公社) 埼玉県栄養士会代表理事会長
50	監事	松永 好夫	埼玉県商店街連合会副会長

※ 付帯事項

- 1 所属団体を代表して選出されている役員（会長、副会長を除く。）については、彩の国コミュニティ協議会総会終了後において、当該団体の役職に変動が生じた場合には、所属団体から新たに推薦を受けた者を充てるものとする。任期については、前任者の残任期間とする。
- 2 1の場合には、次回総会に報告することとする。
- 3 「(選任中)」の表記になっている団体においては、引き続き推薦をいただく承諾をいただいております。これから所属団体を代表して選出される方を含め、役員を選任(案)とする。

### 第3号議案

## 企画委員会委員の選任(案)について

企画委員会委員の任期満了に伴い専門委員会設置規程第3条により、次のとおり委員を選任する。

(順不同)

	氏名	選出団体・役職名
1	上木雄二	(社福)埼玉県社会福祉協議会副会長
2	大鹿良夫	(一社)埼玉県子ども会連合会会長
3	柿沼トミ子	埼玉県地域婦人会連合会会長
4	大井川芳江	恩賜財団母子愛育会埼玉県支部副支部長
5	熊倉仁一	埼玉県スポーツ推進委員協議会副会長
6	関根肇	(一社)埼玉県バス協会専務理事
7	立川文子	埼玉県交通安全母の会連合会副会長
8	久保正美	(公財)埼玉県スポーツ協会専務理事
9	宮澤弘	(一財)埼玉県交通安全協会常務理事(事務局長)
10	照井健祐	埼玉県青少年相談員協議会会長
11	星野明弘	特定非営利活動法人埼玉県レクリエーション協会副会長
12	田中英一	「小さな親切」運動埼玉県本部事務局長
13	川原泰博	(株)テレビ埼玉代表取締役社長
14	(選任中)	埼玉県農業協同組合中央会
15	高崎智子	(一社)ガールスカウト埼玉県連盟理事
16	細井京逸	日本ボーイスカウト埼玉県連盟副理事長
17	新井大	埼玉県公民館連絡協議会副会長
18	栗田美和子	サイタマ・レディース経営者クラブ会長
19	奥ノ木信夫	川口市コミュニティ協議会会長
20	渡辺俊夫	朝霞市コミュニティ協議会会長
21	高田明充	吉川市コミュニティ協議会会長
22	稲元良作	桶川市コミュニティ協議会会長
23	戸口昭一	越生町コミュニティ協議会会長
24	江森不二男	嵐山町地域コミュニティ推進協議会会長
25	島田康弘	小川町コミュニティ協議会会長
26	福岡剛	日高市コミュニティ協議会会長
27	江森正彦	栗橋コミュニティ推進協議会会長
28	佐々木操	白岡市コミュニティ協議会会長
29	山本和憲	深谷市自治会連合会連合会長
30	関根健次	上里町コミュニティ協議会会長
31	新井利朗	長瀨町コミュニティ協議会会長

#### ※ 付帯事項

- 1 所属団体を代表して選出されている委員については、彩の国コミュニティ協議会理事会終了後において、当該団体の役職に変動が生じた場合には、所属団体から新たに推薦を受けた者を充てるものとする。任期については、前任者の残任期間とする。
- 2 「(選任中)」の表記になっている団体においては、引き続き推薦をいただく承諾をいただいております。これから所属団体を代表して選出される方を含め、役員の選任(案)とする。

## 第 4 号議案

### シラコバト賞実施要綱の改正について

#### 1 改正理由

シラコバト賞実施要綱第 4 条に定める推薦書様式について、推薦者と担当者  
を誤記入する例があったため、様式をわかりやすく見直すものです。

#### 2 改正内容

シラコバト賞実施要綱第 4 条に定める推薦書様式について、推薦者と担当  
者の記載欄を設けるものです。 ※新旧対照表は別紙のとおり

#### 3 施行予定日

令和 5 年 5 月 1 8 日（書面評決書回答期限）

別紙

《新旧対照表》

新	旧
<p>シラコバト賞実施要綱</p> <p>様式</p> <p style="text-align: center;"><b>第 回シラコバト賞 推薦書</b> [ 個人・団体 ]</p> <p style="text-align: center;">(個人又は団体の該当する方に○を付けてください)</p> <p style="text-align: right;">年 月 日 ( 年 月 日締切)</p> <p>(宛先) 彩の国コミュニティ協議会 会 長 下記の者をシラコバト賞に推薦します。</p> <p>(推薦者) 住 所 千 一 _____ (担当者) 住 所 千 一 _____ _____</p> <p>電話番号 _____ 電話番号 _____</p> <p>(団体名・役職) _____ (ふりがな) _____ (ふりがな) _____</p> <p>氏 名 _____ 氏 名 _____</p> <p>※推薦の関係で御連絡させていただく場合がありますので、確実に連絡の取れるものを御記入ください。</p>	<p>様式</p> <p style="text-align: center;"><b>第 回シラコバト賞 推薦書</b> [ 個人・団体 ]</p> <p style="text-align: center;">(個人又は団体の該当する方に○を付けてください)</p> <p style="text-align: right;">年 月 日 ( 年 月 日締切)</p> <p>(宛先) 彩の国コミュニティ協議会 会 長 下記の者をシラコバト賞に推薦します。</p> <p>(推薦者) 住 所 千 一 _____ _____</p> <p>電話番号 _____</p> <p>(団体名・役職) _____ (ふりがな) _____</p> <p>氏 名 _____ 担当者氏名 _____ 電話番号 _____</p> <p>※推薦の関係で御連絡させていただく場合がありますので、確実に連絡の取れるものを御記入ください。</p>

## 【連絡事項】

### 令和4年度第2回理事会について

令和4年度第2回理事会の書面審議（令和5年3月20日）の結果について、第1号から第3号議案までは書面表決の過半数の賛成をもって可決されましたことを御報告いたします。

構成役員数45、回答数45、回答率100%

議案番号	議案	賛成	反対
第1号議案	令和5年度事業計画(案)及び収支予算(案)について	45	0
第2号議案	協議会活動推進事業費助成金交付要綱の改正について	45	0
第3号議案	彩の国コミュニティ協議会マスコット「サイコミ君」着ぐるみ使用規程の改正について	45	0

※役員数には、会長、専務理事、常務理事を含めていません。

## シラコバト賞実施要綱

### (趣旨)

第1条 彩の国コミュニティ協議会(以下「県協議会」という。)は、日常、身近なところで、住みよい地域社会の実現のため、積極的な実践活動を地道に続けている個人又は団体にシラコバト賞を贈り、その活動と功績を顕彰し、もって地域活動の促進を図るものとする。

### (受賞対象者)

第2条 受賞対象者は、県内において別表に掲げる地域活動を行う個人又は団体とする。

### (活動期間)

第3条 受賞対象となる活動は、次の基準を満たす期間、常時又は定期的に行われているものでなければならない。

1 常時行われている活動(常時活動)

常時行いうる活動を、年間3回以上行い、推薦のあった年度の11月1日を基準として8年以上継続している活動とする。

2 定期的に行われている活動(定期的活動)

定期的な活動を、年間1・2回程度行い、推薦のあった年度の11月1日を基準として12年以上継続している活動とする。

### (推薦)

第4条 推薦は、県協議会会長が毎年度定める日までに推薦書(様式)を次の各号に定める提出先に提出することにより行う。

(1) 被推薦者又は団体(以下「被推薦者等」という。)が居住(団体の場合は所在)又は活動の場としている市町村コミュニティ協議会(以下「市町村協議会」という。)に提出することにより行う。

(2) 被推薦者等の主たる活動範囲が複数の市町村にわたる場合は、主たる活動地の市町村協議会に提出することにより行う。

2 推薦を行う者の資格は問わない。ただし、自己推薦は認めない。

3 推薦は推薦者1人につき2件までとする。

### (選考)

第5条 受賞者の選考は、原則として市町村協議会の第1次選考を経て、県協議会が最終選考を行う。

### (顕彰)

第6条 この賞は、原則として毎年度11月14日の「県民の日」記念式典において贈呈する。

### (委任)

第7条 この要綱に定めるもののほか、シラコバト賞に関し必要な事項は別に定める。



附 則

この要綱は、昭和54年7月6日から施行する。

附 則

この要綱は、昭和54年7月6日から施行する。

附 則

この要綱は、昭和57年4月30日から施行する。

附 則

この要綱は、昭和61年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成6年5月12日から施行する。

附 則

この要綱は、平成7年10月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成9年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成12年5月19日から施行する。

附 則

この要綱は、平成15年5月16日から施行する。

附 則

この要綱は、平成16年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成17年5月17日から施行する。

附 則

この要綱は、平成18年5月17日から施行する。  
ただし、第3条第1項のただし書を削る改正規定は、平成19年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成19年5月15日から施行する。

附 則

この要綱は、平成20年5月15日から施行する。

附 則

この要綱は、平成21年5月15日から施行する。

附 則

この要綱は、平成22年5月13日から施行する。

附 則

この要綱は、平成25年5月15日から施行する。

附 則

この要綱は、平成30年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、令和5年5月18日から施行する。

別表

活 動	内 容
活 動 項 目	内 容 例 示
心のふれあいを深める活動	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 日頃から、あいさつなど温かな心で接して、交流を行っているもの</li> <li>2 障害者の社会参加促進、高齢者や世代間の交流など円滑な人間関係やコミュニケーションを深めるための活動を行っているもの</li> <li>3 各国の人々との国際交流を行っているもの</li> <li>4 地域の祭りの実施など人々の心のふれあいを行っているもの</li> <li>5 子育て、健康、福祉など多様な分野で女性の地位向上につながる活動を行っているもの</li> <li>6 その他、人との交流、心のふれあいを通じ、コミュニティ意識を深め、輪を広げる活動を行っているもの</li> </ol>
健やかな心身を育てる活動	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 スポーツ、レクリエーションの普及、指導を行っているもの</li> <li>2 健康、体力づくり、食生活改善の普及に努めているもの</li> <li>3 青少年の健全育成に努めているもの</li> <li>4 生涯にわたって、いきがいや楽しみのための生涯学習の普及、指導を行っているもの</li> <li>5 その他、人々の健やかな心身を保つための活動を行っているもの</li> </ol>
住みよいふるさとをつくる活動	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 道路、学校、公園、広場などの公共施設及び公共の場の清掃美化活動、環境保全、改善活動や花いっぱいなどの緑化活動を行っているもの</li> <li>2 空き缶、古紙などの資源リサイクル活動やゴミ減量の活動を行っているもの</li> <li>3 防犯、交通事故防止及び防災などの安全活動を行っているもの</li> <li>4 人々が協力をして、より良い地域社会を築くための活動を行っているもの</li> <li>5 その他、恵まれた自然を生かした、美しく住みよい郷土をつくる活動を行っているもの</li> </ol>
郷土を知り、郷土を想う活動	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 郷土の自然、風致、史跡など文化遺産の保全、愛護等を行っているもの</li> <li>2 郷土芸能、伝統行事の伝承と保存及び後継者の育成等を行っているもの</li> <li>3 よさこいや阿波踊り、アニメやマンガ等を取り入れた地域振興など、新たな地域文化の創造、普及を行っているもの</li> <li>4 その他、郷土の歴史、風土、文化を知り、郷土を愛し、地域における連帯の絆を培う活動を行っているもの</li> </ol>

様式

# 第 回シラコバト賞 推薦書 [ 個人・団体 ]

(個人又は団体の該当する方に○を付けてください)

年 月 日  
( 年 月 日締切)

(宛先)

彩の国コミュニティ協議会  
会 長

下記の者をシラコバト賞に推薦します。

(推薦者) 住 所 〒 \_\_\_\_\_ (担当者) 住 所 〒 \_\_\_\_\_

電話番号 \_\_\_\_\_

(団体名・役職)  
(ふりがな)

電話番号 \_\_\_\_\_

(ふりがな)

氏 名 \_\_\_\_\_

氏 名 \_\_\_\_\_

※推薦の関係で御連絡させていただく場合がありますので、確実に連絡の取れるものを御記入ください。

## 記

(推薦を受ける者)

(ふりがな)

氏名または団体名 \_\_\_\_\_

連絡先または団体所在地住所 \_\_\_\_\_

連絡先電話番号 \_\_\_\_\_

〒 \_\_\_\_\_

※住所はアパート名等も記入してください。団体所在地が個人の自宅の場合は「〇〇方」と記入してください。

※個人を推薦する場合は、こちらを使用してください。

※団体を推薦する場合は、こちらを使用してください。

<b>【個人】</b>
生年月日(和歴) _____ 年 月 日
年齢 _____ 歳( _____ 年 月 日時点)
性別 男・女 _____
職業 _____
所属団体名・役職(※) _____
_____
_____
※団体に属して、対象となる活動をしている場合は、団体名を記入してください。

<b>【団体】</b>
(ふりがな)
代表者名 _____
設立年月日(和暦) _____ 年 月 日
代表者住所(アパート名も記入してください)
〒 _____
_____
_____
代表者電話番号 _____
会員数 _____ 名 会員構成 _____

